

健康起因事故を防止

3支部合同セミナー

行政処分「強化」受け

【大阪】大阪府トラック協会の東北(尾崎唯彦支部長)、北大阪(中野由彦支部長)、中央(平井信一支部長)の3支部は4日、合同で健康起因事故の防止に向けたセミナーを行い、NPO法人(特定非営利活動法人)ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長らの説明を聴いた。

健康起因事故を起こした

事業者に対する行政処分が強化されることから、過労死の原因となる病気への理解や生活習慣病などの予防を目的に開催。OCHISの作本氏は「事業者における安全と健康管理対策の進め方」と題し、トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアルの活用と重要項目を解説した。

また、黒田悦子保健師は「定期健康診断のフォローアップの手法」をテーマに、「運輸ヘルスケアナビシステム」の概要などについて説明した。

なお、新型コロナウイルス

スの感染状況を踏まえ、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を利用したウェブ参加も実施。ウェブも合わせて約50人が出席した。

(黒須晃)